

CNCPアワード 2016受賞者決定

CNCP アワード 2016 報告

ソーシャルビジネス（社会的課題の解決を図るための取り組みを持続可能な事業として展開すること）は、NPO として取り組むべき事業そのものです。このような事業をそれぞれが展開することで、NPO の社会的存在意義が高まり、行政や企業、教育・研究機関、そして地域・市民組織とのパートナーシップを通じて、より良い地域社会の構築を目指すことが可能となると考えます。

そこで、シビル NPO 連携プラットフォーム（CNCP）では「社会的課題の解決を図るための、シビル分野における優れた事業を顕在化・称賛し、広く周知させることによって、シビル分野でのソーシャルビジネスの普及させる」を目的として CNCP アワード 2016 を実施いたしました。募集部門は、「ベスト・プラクティス賞」と「ベスト・アイデア賞」の2部門です。シビル分野において、優れたソーシャルビジネスを展開している実績ある事業と、まだ実績はなくても今後の可能性を秘めた優れた事業企画を表彰するものです

4月～5月の2か月応募期間があり応募総数はベスト・プラクティス部門が12件とベストアイデア部門が8件でした。7月に選定委員会があり受賞事業は下記の通りでした。選定委員長は谷本寛治氏（早稲田大学教授）、選定委員は佐藤寿廷氏（国土交通省事業統括調整官）、山田菊子氏（東京工業大学研究員）、田村裕美氏（(一社) ソーシャルテクニカ代表）、山本卓朗氏（CNCP 代表）です。

CNCP としても初めてのアワードであり、応募期間も短くエントリーの数が懸念され CNCP 会員への応募要請がありました。当 NPO からベスト・アイデア部門に応募したところ最優秀賞に選ばれてしまいました。身内からの受賞と言うことで固辞したのですが辞退は認められませんでした。詳しくは CNCP のホームページに掲載されておりますのでご覧下さい。

ベスト・プラクティス部門

最優秀賞：土のう工法の普及活動を通じた未舗装道路整備のインクルーシブビジネス化
優秀賞：東日本大震災 宮城県東松島市あおい地区における防災集団移転等の支援活動

ベスト・アイデア部門

最優秀賞：地方自治体のインフラの維持管理を支援する有限責任事業組合
優秀賞：該当なし

10月31日土木学会講堂にて表彰式およびプレゼンテーションが行われました。当日は高橋事務局長にプレゼンテーションをして頂きました。